

2019年6月19日（水）に開催された2019年度第3回理事会（臨時）の概要をお知らせします。

●会長（代表理事）の選定について

会長の選定について、下記の通り審議の経過を経て決議が行われた。

議長（代表理事が決まるまでの間の議長として、理事より選出）より、会長候補者の自薦・他薦の確認が行われたところ、「東京 2020 五輪を控えている今、引き続き、嶋岡理事に会長を継続していただき、強いリーダーシップを発揮して欲しい」と推薦があがった。併せて、他の理事からも嶋岡理事の推薦があがった。

その他、自薦・他薦による会長候補者がいなかったため、決議を前にして嶋岡理事より会長に選定された際の抱負が述べられた。

「会長に推挙をいただき、身の引き締まる思いである。引き続き、会長を重任できるのであれば、理事全員で目的を共有し、課題解決に取り組む理事会を目指します。

昨年、制定した JVA 中期経営計画を確実に実行し、東京 2020 大会に向けたバレーボール・ビーチバレーボール日本代表チームへ最大のバックアップと、2024 年パリ五輪を見据えたアンダーカテゴリーの強化にも力を入れて参ります。

今回、業務執行理事会の活性化の為に、業務執行理事の増員を念頭に置きました。事務局職員との密なコミュニケーションを図る役割も期待しており、安定した協会運営を推進していきます。

今後の最重要課題は財務改革であり、収入の増大や従来の枠組みに捉われない新しいビジネスモデルの構築のため、本年 4 月に JVA の組織改編を行い新設された「新規事業企画部」「体罰・暴力・ハラスメント撲滅対策部」「加盟団体連携部」も含めてしっかりと組織を機能させることで、2020 年以降のスポーツ界の変化に柔軟に対応して参ります。」

嶋岡理事を会長に選任することについて議長を除く出席理事で賛否を諮ったところ、承認可決された。

嶋岡理事が会長に選任されたことを受けて、嶋岡会長より下記挨拶がなされた。

「この 2 年、更に懸命に取り組まなくてはならないと強く認識している。東京 2020 大会でバレーボール・ビーチバレーボールの日本代表チームが活躍出来るよう最大限のバックアップ体制を整えたい。アンダーカテゴリーも含めた、オールジャパンチームの強化に向けてぜひ理事の皆様も支援・協力いただきたい。財務改革、体罰・暴力の撲滅、2020 年以降のスポーツ界の変化における課題の解決に、理事の皆様より大所高所からのアドバイスを頂き、運営に

当たって参ります。」

会長の挨拶を受け、理事より下記意見があった。

- ・今回、専務理事のポストが空席になっているが、これからどのような体制で進めて行くのか。
専務理事に誰か据える等の考えはあるのか。
→嶋岡会長：まだ、専務理事を置くかどうかは整理が出来ていない。暫くは専務理事を置かない体制で進めていくが、必要であれば検討していく。マーケティング事業開発本部・指導普及事業本部については、当面私（嶋岡会長）が兼務する。
- ・代表理事一人体制で問題ないのか。
→嶋岡会長：代表理事を新たに置くかどうか、今後をみて判断していきたい。
- ・代表理事に欠員が生じた場合に備え、指名順位等を準備しておくべきではないか。
→嶋岡会長：検討してご報告いたします。

●副会長、業務執行理事の選定及び担当職務の決定について

副会長、業務執行理事の選定および担当職務について提案が行われ、賛否を諮ったところ、承認可決された。

[選任日は2019年6月19日付けとする]

- ① 嶋岡健治氏を会長（代表理事）兼 マーケティング事業開発本部本部長 兼 指導普及事業本部本部長とすることについて
- ② 岡野貞彦氏を副会長（理事）とすることについて
- ③ 松下敬氏を副会長（理事）とすることについて
- ④ 鍛冶良則氏を業務執行理事 事務局長 兼 東京2020大会準備室室長とすることについて
- ⑤ 鳥羽賢二氏を業務執行理事 ハイパフォーマンス事業本部本部長とすることについて
- ⑥ 高野和弘氏を業務執行理事 業務推進室室長とすることについて
- ⑦ 村上成司氏を業務執行理事 大会運営事業本部本部長 兼 大会運営部部長に選任することについて

●重要な使用人の退任について

重要な使用人の退任について下記の通り説明があり、賛否を諮ったところ、承認可決された。

理事会にて下山隆志氏は重要な使用人として選任を受け、東京 2020 大会準備室副室長を務めていたが、今般 70 歳を迎えた。本来、重要な使用人には、規程上定年（70 歳）の定めはないが、今回の理事改選を機に、東京 2020 大会準備室副室長から顧問になり、引き続き活躍いただきたい。

●役員報酬について

役員報酬について説明があり賛否を諮ったところ、承認可決された。

1. 業務執行理事の報酬
2. 非常勤役員手当

■上記の業務執行理事の報酬額は 7 月分から適用する。

●コンプライアンス違反の処分について

コンプライアンス違反の処分について下記の通り説明があり、賛否を諮ったところ、承認可決された。

コンプライアンス委員会を 2019 年 6 月 11 日に開催し、審議を行いました。

結果、下記の通り事実関係を認定し、委員会として処分案を決定いたしましたので、コンプライアンス規程第 16 条に基づき具申いたします。

1. 対象者

役職 : 大阪市立中学校教諭、同校女子バレーボール部元顧問

保有資格 : 日本スポーツ協会公認指導員（バレーボール）

2. 確認された事実

(1) 概要

平成 30 年 8 月 16 日（木）16 時 40 分ごろ、大阪市立中学校体育館にて以下の行為を行った。

公式戦前の練習試合において、被害者 A はチームのカバーができずにいることが多く、練習試合の最終セットも被害者 A のミスが多く負けた。悔しさと被害者 A にも精神的にも強くなってほしいという思いから感情的になり、被害者 A の顔に 1 回ボールを投げ当てた。（2～3 メートルの距離から下手投げでボールを当てた。）被害者 A に怪我はなく、暴行もそのとき 1 回のみであった。

また、2016年秋～2018年8月の間、部活動時において常習的に暴言を発しており、教育委員会より学校長が口頭注意を受けている。

(2) 教育委員会の処分

- ・大阪市教育局からの懲戒処分 減給6か月

4. コンプライアンス違反と認定する理由

コンプライアンス規程第6条（禁止事項）、2（1）の暴力行為に該当するため。

5. 本件に関する処分案

「指導者資格」の「12か月停止」処分とする。

※なお、日本スポーツ協会（JSP0）公認スポーツ指導員資格に関する処分は、JVA 理事会の決議結果を受けたうえで、JSP0 が最終の組織決定をするため、JVA の理事会決議とは異なる処分となる場合があります。

●全国専門学校バレーボール連盟の準加盟団体の加入について

全国専門学校バレーボール連盟の準加盟団体の加入について下記の通り説明があり、賛否を諮ったところ、承認可決された。

全国専門学校バレーボール連盟の規約や、所属団体および事業・予算計画の紹介がなされた。準加盟団体の加入については2019年7月1日付を希望しており、今後は、加盟団体化に向けて検討していきたい。

●加盟団体規程の改定について

全国専門学校バレーボール連盟が準加盟団体に加入することを受けて、加盟団体規程を下記の通り改定することについて説明があり、賛否を諮ったところ、承認可決された。

加 盟 団 体 規 程 （変更点抜粋）

- 第3条** この法人は、前条のほか、国内におけるスポーツ団体を準加盟団体とすることができる。
- 2 前1項に定める準加盟団体は、次のとおりとする。
特定非営利活動法人日本混合バレーボール連盟（準加盟全国連盟）、**全国専門学校バレーボール連盟（準加盟全国連盟）**
 - 3 準加盟団体は、原則として加盟団体に準じた取り扱いとする。
 - 4 その他、準加盟団体に関する必要な事項は、理事会の決議を経て別に定める。

※この規程は、2019年7月1日から施行する。

●委員会の設置及び委員会委員の選任について

委員会の設置および委員会委員の選任について下記の通り説明があり、賛否を諮ったところ、承認可決された。

大会運営事業部については、バレーボール及びビーチバレーボールの国際・国内大会で、既に大会運営に携わっていただいているスタッフも多くいることから、委員会をいち早く立ち上げたい。

今回の設置委員会と委員長は下記の通り。

【大会運営事業本部】

- ・ 競技委員会（委員長：小泉芳孝氏）
ーブロック競技委員長／企画部／加盟団体等競技委員長／運営部

- ・ 情報企画委員会（委員長：河合学氏）

- ・ 審判規則委員会（委員長：小柴滋氏）
ーブロック審判委員長／加盟団体審判委員長／登録部／指導部／規則部

●日本代表選手選考基準の改定について

日本代表選手選考基準（インドア及びビーチ）をJVAホームページに掲載するにあたり、一部変更のあった内容について改定したい旨の説明があり、賛否を諮ったところ、承認可決された。

※第32回オリンピック競技大会（2020／東京大会）ビーチバレーボール種目の予選方式と日本代表チームの選考方法について

なお、理事より選手選考は非常にセンシティブな案件であり、事前の案内や決定後のフォローについてはトラブルの無いよう、丁寧に進めて欲しいとの意見があった。

※日本代表選手選考基準は、JVAホームページに掲載されています。

●報告事項

(1) 理事の担当業務について

理事の担当業務についての説明があった。

(2) 理事会開催日程の年間スケジュールについて

理事会開催日程の年間スケジュールの紹介があった。

(3) 中期経営計画について（進捗サマリー）

新任理事に向けて、JVA の概要（事業内容、組織、沿革と公益財団法人について）の紹介があり、続いて、JVA 中期経営計画についての収支予測、具体的施策、推進体制についての説明が行われた。

以 上